

## 例 言

1. 本書は、奈良県大和郡山市観音寺町において、奈良県が計画した県道城廻り線建設予定地の昭和55年度発掘調査概報である。
2. 調査は奈良県教育委員会の依頼により、奈良国立文化財研究所平城宮跡発掘調査部が担当した。調査参加者は以下のとおりである。  
I～III区、鬼頭清明・山本忠尚・甲斐忠彦・巽淳一郎・加藤允彦・上原真人・山岸常人  
IV区、工楽善通・千田剛道・綾村宏・中村友博・亀井伸雄・本中真
3. 事務手続は奈良県立橿原考古学研究所が担当した。
4. 土地所有者の方々には、土盛地として北に接する未買収地を使用させていただく等の多大の御協力を賜わった。
5. 本書の作成は、岡田英男の指導のもとに調査員全員があたり、全体の討議をもとに次のように分担執筆した。  
I 山本忠尚・加藤允彦、II-1～5 山岸常人、III-1 山本忠尚、III-2 巽淳一郎、III-3 鬼頭清明・甲斐忠彦、III-4 甲斐忠彦、IV 加藤允彦・山本忠尚。
6. 本書では、土器の実測図と写真とに共通する番号を用い、本文の記述は主に実測図にそくして行なった。
7. 遺構・遺物の写真は、佃幹雄・八幡扶桑が撮影した。また、挿図作成には渡辺衆芳・池田千賀枝が協力した。
8. 本書の編集は、上原真人が担当した。